



日本全国 能楽キャラバン!

奈良特別公演 薬師寺

日本の文化はここから始まった

大般若経伝来の薬師寺で
上演する復曲能

だいほんにゃ

「大般若」

シテ 観世喜正

地頭 梅若桜雪 (人間国宝)

2022年11月18日(金)

開演13時

薬師寺 金堂前 特設舞台

(屋外会場/雨天時:食堂内)



[番組]

御挨拶 加藤朝胤 (法相宗大本山薬師寺 管主)

解説

復曲能

だいはんにや

大般若

深沙大王	観世喜正	玄奘三蔵	福王知登		
飛天	山中遼晶	眷属	高澤祐介		
飛天	山中雅志				
龍神	井戸良祐				
龍神	川口晃平				
笛	左鴻泰弘	後見	観世喜之	地謡	梅若桜雪
小鼓	飯田清一		塩谷 恵		山本博通
大鼓	亀井広忠		赤瀬雅則		山崎正道
太鼓	中田弘美				梅若基徳
					武富康之
					田茂井廣道

(終演予定 14時20分)

大般若

大般若の経典を求め天竺を目指す玄奘三蔵。

シルクロードの行く手には嶺々たる高山と流沙河が流れ、玄奘を遮る。流沙河の主・深沙大王は、七度命を失っても生まれ変わりひたすらに天竺を目指す玄奘の心意気に打たれ、玄奘に大般若経を与え、河を割って玄奘を渡し守り神となる。

後段、深沙の眷属である飛天や龍神が現れ舞楽や躍動的な所作を見せる。梅若家に伝わる名物面「真蛇」をかけ、頭上に大龍を載せた深沙大王（薬師寺では深沙大将と呼称）の胸元には七つの鬘髻が下げられ、七度命を失った玄奘を表している。最後に、深沙を始め眷属達が河を割るシーンは「ソバダチの手」という見どころとなっている。



観世喜正 (かんぜ よしまさ)
シテ方観世流。1970年生。
観世喜之の長男。
公益社団法人能楽協会常務理事。
重要無形文化財保持者総合認定。



福王知登 (ふくおう ともたか)
ワキ方福王流。1981年生。
16世宗家福王茂十郎の次男。
公益社団法人能楽協会会員。



梅若桜雪 (うめわか ろうせつ)
シテ方観世流。1948年生。
重要無形文化財保持者各個認定(人間国宝)。
日本藝術院会員。
2006年紫綬褒章。
2022年観世宗家より雪号を授与。(前名:実)
長らく廃曲となっていた「大般若」を1983年に復曲。



観世喜之 (かんぜ よしゆき)
シテ方観世流。1935年生。
公益社団法人観世九阜会理事長。
重要無形文化財保持者総合認定。
2005年日本藝術院賞受賞。
薬師寺花会式百華能に70年にわたり出演。

日本全国 能楽キャラバン！「奈良特別公演」開催の地として、白鳳文化と般若心経を今に伝える「薬師寺」に御縁を頂きました。長い歴史の中で能楽とも縁深く、春の花会式の奉能も行われています。開催日の「11月18日」は、般若心経のお写経の浄財による薬師寺白鳳伽藍復興を発願した、故高田好胤師の晋山式法要（新しい住職を迎える記念法要）の行われた所縁の日です。国宝薬師三尊様の坐す金堂前特設舞台にて、般若心経を伝えた玄奘三蔵の登場する復曲能「大般若」を、是非ご覧ください。
 （平成令和の大修理を終えた国宝「東塔」の姿も是非ご覧ください）

薬師寺

南都六宗の一つである法相宗の大本山。「凍れる音楽」と喻えられた国宝東塔と西塔からなる双塔の伽藍様式。天武天皇が后である持統天皇の病氣平癒の為に建立した、1300年にわたる信仰の場である。



金堂(こんどう)

薬師寺を代表するお堂で、御本尊薬師如来と日光・月光菩薩の三尊(全て国宝)が坐す。二層建てで各層に裳階(もこし)があしらわれている。

東塔(とうとう)

国宝。薬師寺創建当初から唯一現存し、平城京最古の建造物である。六重に見えるが実は三重の塔で、「凍れる音楽」という愛称で親しまれている。奈良時代(730) 創建。

食堂(じきどう)

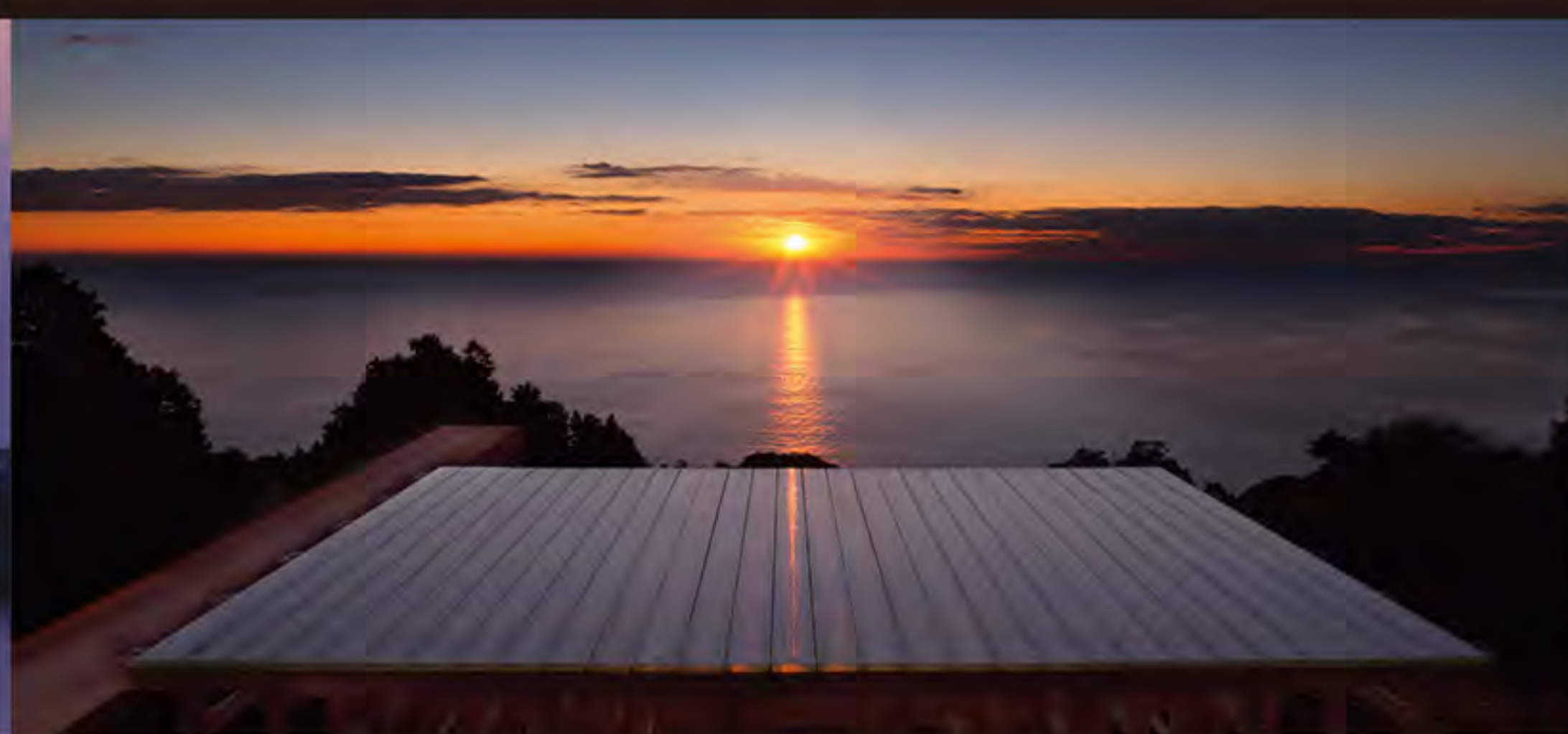
堂内には文化功労者の田淵俊夫画伯により描かれた6m四方の本尊「阿弥陀三尊浄土図」を中心に、14面全長50mにわたる壁画「仏教伝来の道と薬師寺」が祀られている。

雨天会場

能楽協会主催 特別公演

日本の美しさが凝縮された特別で圧倒的な空間での能楽上演

ライブ配信サービス「PIA LIVE STREAM」にて各公演のアーカイブ配信が決定！
 詳細は能楽協会公式サイトをご覧ください。



過去

～日本の文化はここからはじまった～

奈良 法相宗大本山 薬師寺

11月18日公演/後日アーカイブ配信

現在

～近代日本の美との融合～

神奈川 小田原・江之浦観候所

11月16日公演/後日アーカイブ配信

未来

～平和への願いと未来への祈り～

沖縄 ガンガラーの谷 / 那覇文化芸術劇場なはーと

公演終了/随時アーカイブ配信

能楽の旅
 Journey through Nohgaku
 “旅”をキーワードに、能楽の魅力を様々な角度からお届けする特設サイト。動画の配信(無料)、記事コンテンツを掲載中です。奈良・吉野 金峯山寺蔵王堂内での特別映像も公開中。

日本全国 能楽キャラバン！
 奈良公演

奈良からはじまる、
 能楽の旅

三輪山公演 2022年10月27日(木) 14時開演
 会場 三輪山会館 能楽堂
 番組 能「船弁慶」ほか

春日野公演 2022年12月20日(火) 14時開演
 会場 奈良春日野国際フォーラム 葦〜I・RA・KA〜
 番組 能「花筐」ほか

日本全国 能楽キャラバン!

奈良特別公演 薬師寺

日本の文化はここから始まった

日時 2022年11月18日(金) 開演13時

(開場12時15分 終演14時20分予定)

会場 薬師寺 金堂前 特設舞台 (奈良市西ノ京町457)

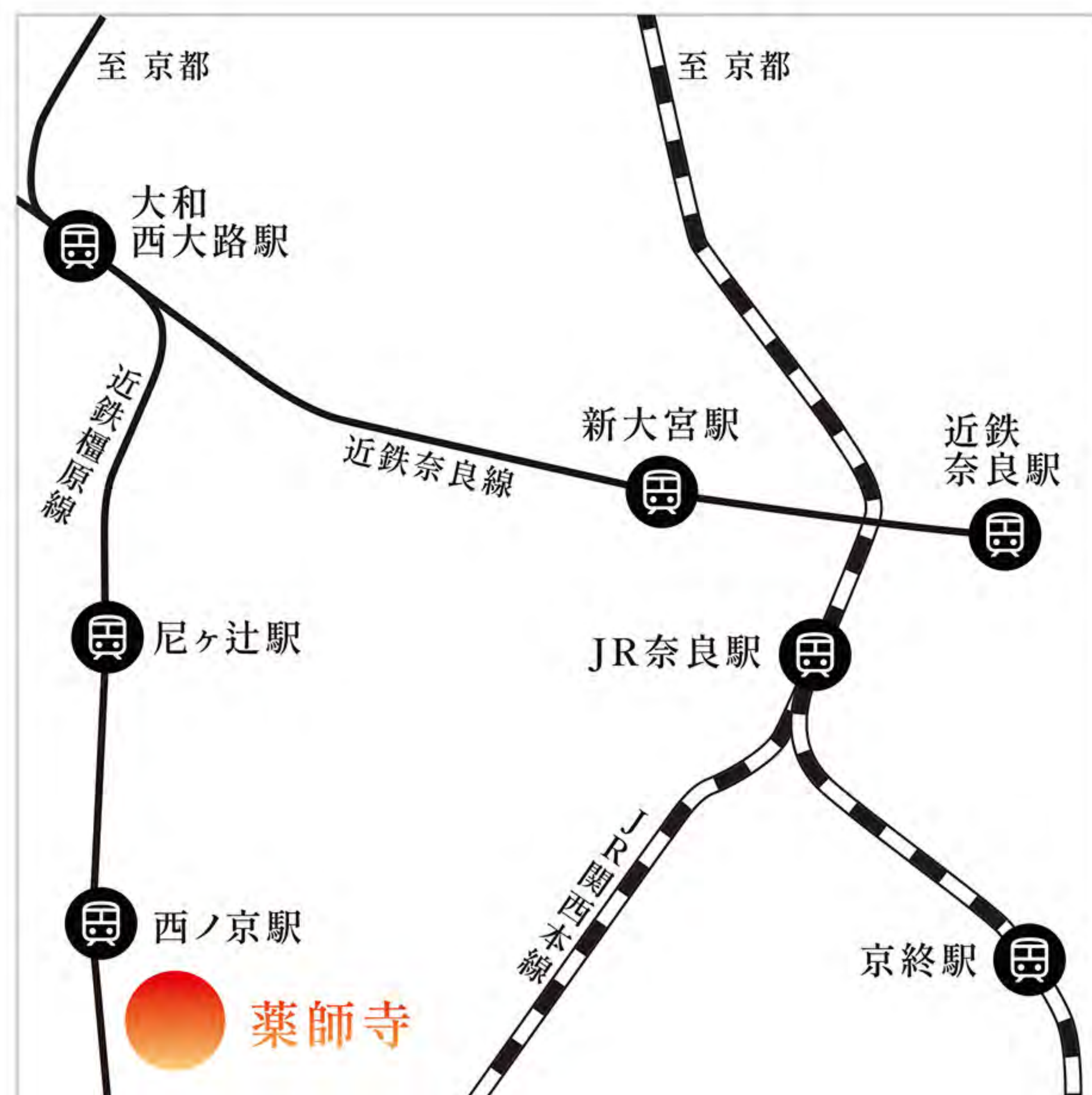
※雨天の場合は、「食堂(じきどう)」内特設舞台での開催となります。
※雨天開催に関する最新情報は、本事業特設サイトにてご案内します。



【会場アクセス】

電車: 近鉄西ノ京駅より徒歩1分

※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。



チケット料金 4,600円

(全席自由:薬師寺拝観料1,600円含む)

前売りチケット販売期間 10月7日(金)~11月16日(水)

※発売開始は、10月7日(金)午前10時からとなります。

※上記を過ぎてからのチケットのご購入については当日券になります。

※販売期間にかかわらず、チケットが売り切れ次第、販売を終了させていただきますので予めご了承ください。

イープラス

eplus.jp(WEB/アプリ/Famiポート)



カンフェティ ※ネット販売あり

0120-240-540(有人対応)[平日 10:00-18:00]



能楽協会、薬師寺ではチケット販売をしておりません。上記取扱所にてお求めください。

※本チケットにて薬師寺拝観(8:30~17:00)ができます。

※拝観可能場所:

金堂

大講堂

東院堂

玄奘三蔵院伽藍

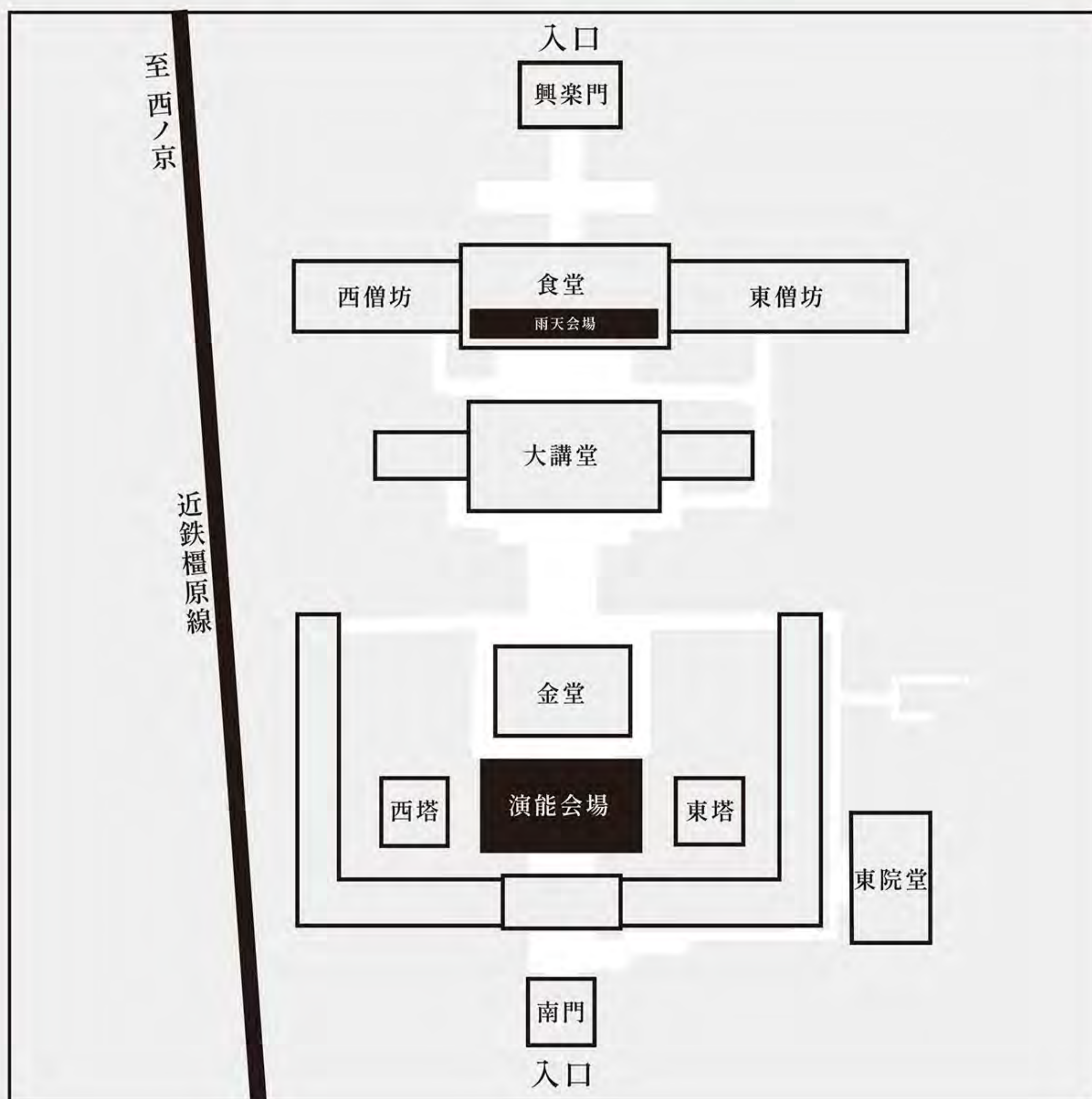
西塔初層東面開扉

食堂(じきどう)

西僧坊



金堂を正面に、東塔・西塔が両脇を囲む、
最高のロケーションで上演します。



- ご観覧にあたって ・当日は主催者、関係者、メディアによる撮影が入る場合がございます。撮影したものは今後の広報・配信等に活用いたします。客席を含む会場内の映像・写真が公開されますので予めご了承ください。
- 感染防止対策にご協力ください ・37.5℃以上の発熱、咳・咽頭痛などの症状がある場合はご来場をお控えください。発熱がある方は入場をお断りさせていただく場合がございます。
・場内では上演中も含め必ずマスクをご着用ください。・入口にて手指消毒と検温にご協力ください。・会場へのお食事のお持ち込みはご遠慮ください。
- その他の注意事項・最新情報は能楽協会公式サイトをご覧ください。